



一宮市議会
Ichinomiya City Assembly

入学式



サッカー部



バレーボール部



授業風景



清掃活動

<1年生>



<3年生>

吹奏楽部



剣道部



<2年生>

キャンプ



カレー作り



キャンプファイヤー

議会だより



いちさんぱち

2021年11月号

常任委員会	1
一般質問	3
議案・請願審議結果	7
Doors -トピックス-	9

丹陽中学校

本校においても、コロナ禍によって多くの制約がある生活が続いています。しかし、生徒たち一人一人が感染症予防を心がけるとともに、「今できることは何か」をしっかりと考えて、部活動や行事などに全力で取り組み、充実した時間を過ごしています。

校長メッセージ

「For Your Dream ～夢に向かって～」のスローガンのもと、生徒が夢をもち、その実現に向けて努力を重ねています。今後も、さまざまな活動を通して、心身ともに健やかで、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成を目指していきます。(校長 安藤 誉)

9月定例会の概要

9月定例会は、9月2日から27日まで26日間の会期で行われました。

- 9月2日の開会日には、一般会計の補正予算案など18議案と6件の報告が市長から提出されました。
- 9月8日、9日の2日間に15人の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。9日には開会日に提出された議案の質疑を行い、その後、議案と請願書2件を常任委員会に付託しました。
- 9月14日～17日までに開催した総務・福祉健康・経済教育・建設水道の各常任委員会において付託された各議案を審査しました。
- 9月27日の閉会日には、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、討論を経て、市長から提出された議案のうち15議案を原案どおり可決し、認定議案3件を継続審査としました。また、前回からの継続審査を含む12件の請願書については、1件を採択、11件を継続審査としました。その後、議員から3件の議案を提出し、いずれも可決しました。さらに、市長から9件の議案と3件の報告が追加で提出され、同意議案3件を同意し、認定議案6件を継続審査としました。

議案等の内容については、広報一宮4、5ページ及び一宮市のウェブサイト(ホームページ)をご覧ください。

ID 1019392(条例関係)

ID 1039362(令和3年度予算)

各記事に掲載の ID (7桁の数字) を、市ウェブサイトの「ページID検索」に入力すると、該当記事の情報がダイレクトに表示されます。

ID 1000010 表示

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は11月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

Q 今後も活用の予定はあるのか。また、今回の補正以外に、まだ計上されていない交付金等はあるのか。

A 国から示されている限度額は今回の補正で全て活用することになります。国からは新たに事業者支援を目的とした交付金が示されており、今後活用を検討していく予定です。また、それとは別に、国庫補助金を基に算定される額が示される予定となっています。

Wi-Fi整備委託料について

Q 既に54施設で154か所の無線アンテナがたっているが、これを全て交換するのはなぜか。

A Wi-Fiの無線アンテナは平成26年から27年にかけて設置したものです。通常の機器では5年から7年で部品の交換が必要となるため、今回全て交換する予定です。

Q 無線アンテナを4施設で19か所増設する理由は何か。

A 今回対象となった施設では、何箇所か電波の受信状態が悪い場所があるため増設をしていくものです。また、尾西図書館については、市民からの要望もあり、学習室に1か所増設するものです。

消防車両更新管理事業について

Q 小型動力ポンプ付積載車の納期が遅れるため令和4年度へ繰り越すとのことだが、どのような経緯なのか。

A 車体のベースとなる車種が当初は2種生産されていたため、年度内に納車されると判断していましたが、1種は生産中止、もう1種はモデルチェンジのため一時的に生産中止となりました。そのため、年度内の納車ができなくなり、繰り越しとなったものです。

Q 納期が遅れることで、既存の車両を使用し続けることになるが支障はないか。

A 車検に関しては、納車予定の時期まで有効なものです。また、車両については通常18年ほどで更新をしており、使用期間が半年ほど延びますが、支障ありません。



福祉健康委員会

便所洗面器自動水栓化修繕について

Q コロナ対策として、いきいきセンターやつどいの里等の便所洗面器自動水栓化修繕をするとのことだが、こういった点がコロナ対策なのか。

A 蛇口にセンサーがあり、非接触で手を洗うことができる点がコロナ対策になると考えています。

意見 児童クラブや保育園等の多くの児童や幼児が集まる施設にも、非接触で手を洗うことのできる設備の導入を検討してほしいとの意見があった。



保健所の庁用備品購入について

Q 災害時における保健所の機能維持及び災害活動に必要な資機材等を購入するとのことだが、どのような災害を想定しているのか。

A 南海トラフ地震など震度6弱以上の地震等、ライフラインが止まるような災害を想定しています。

Q 停電時を想定した訓練は行うのか。

A 医療機関との連携を含めた訓練を県の施設であった一宮保健所の際にも年1回実施していたので、その訓練と併せて実施していく予定です。

意見 停電時は、電話やインターネットが利用できなくなることが想定されるが、情報収集や医療機関との連携では重要な役割を果たすため、訓練の際には発電機を用いることで業務が継続可能であることを確認してほしいとの意見があった。



住民記録システム及びがん検診等管理システムの改修委託料について

意見 マイナンバー制度は、所得、資産、健康情報、学習データなどの個人情報国によって一元管理される懸念があり、また個人情報の漏洩リスクなどの情報管理において不安が払拭されていないため、マイナンバーに関連する予算を計上した本議案には賛成できないとの意見があった。

経済教育委員会

地域新電力会社設立支援アドバイザー業務委託料について

Q 設立支援とあるが、どのような支援を行うのか。

A 本市と共同で電力事業を行うパートナー事業者の募集・選定に係る支援としては、仕様書の作成、事業者選定に係る審査委員会の委員選定及び招へい、審査委員会の実施を予定しています。パートナー事業者選定後の地域新電力会社設立に係る支援としては、電気事業法に基づく小売電気事業者の登録に関する事務、本市とパートナー事業者間における協議や調整、地域新電力会社の事業計画の作成などを予定しています。



Q 地域新電力会社が設立されることにより、市民にはどのようなメリットがあるのか。

A 地域新電力会社は、脱炭素社会の実現に向けたエネルギー会社として活躍することも重

要であり、ほかの自治体では地域新電力事業で得られた利益を再生可能エネルギー発電事業に再投資するなど、地域の問題解決に取り組んでいます。本市においても、利益の一部を還元することによって、それを資金として環境政策や防災対策をはじめ、地域特性に応じた課題を解決する公共サービスを提供することができれば、大きなメリットになると考えています。

修学旅行キャンセル料等補助金について

意見 小・中学校共通で原則1回のキャンセル料を認めるとのことであるが、愛知県では4度目の緊急事態措置が講じられており、各種事業が延期や中止となっている。小・中学校の修学旅行は、児童・生徒にとって大切な行事であるので、延期や中止に伴うキャンセル料の公費補助の拡充について柔軟な考えを持って検討してほしいとの意見があった。



建設水道委員会

準用河川川崎川改良事業について

Q 令和5年度以降の工事箇所について、工法変更の可能性が生じたので、それに先立つ移転補償を見送るため減額することのことだが、工法変更の可能性が生じた理由は何か。

A 愛知県が進める防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策としての河川整備計画や、現在工事を進めている奥小学校の校庭貯留工事の進捗による効果を改良計画に反映させ、今後の事業を効率的に推進していくため、令和5年以降の工事内容を一部見直しするためです。

まちなかウォークابل推進事業について

Q コロナ禍で開催された社会実験のデータがアフターコロナで活用できるか不確かであり、競輪場跡地にできる大型商業施設が営業を開始すると人の流れが変わることも考えられるが、コロナ禍で社会実験を実施するのはなぜか。

A 新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からない状況であるため、コロナ禍でも安全に行えるイベント様式を模索するとともに、

にぎわいの場を提供して経済活動を支えるという観点から実施する意義があると考えています。

Q 100周年記念事業や活力創造部が行うイベントと併せて社会実験を行ったほうが、より効果的なデータが得られるのではないか。

A 本事業は一大イベントや一過性のイベントではなく、新たな日常づくりや継続的なまちづくりに主眼を置いているため、他の行事と時期を合わせる必要性は低いと考えています。ほかのイベントが行われる令和4年2月までの期間においてもデータを取得していきます。

Q 実施エリアを広げたことで混雑は緩和されとしても、特定のイベントや店に人が集中することも考えられるが、何か対策はあるのか。

A 新型コロナ対策ガイドラインを作成しており、その中でコンテンツの種類別に設定したガイドラインの遵守を参加事業者徹底します。また、混雑が想定されるときには雑踏対策として警備員を手配する予定です。

意見 得られた検証結果は本事業だけでなく、アフターコロナでの一宮七夕まつり等、ほかのイベントへの活用についても検討して欲しいとの意見があった。

一般質問

9月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は11月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

9月8日(水)

- ・宇山 祥子 議員 P.3
- ・小林けいめい 議員 P.3
- ・渡部 晃久 議員 P.3
- ・八木 丈之 議員 P.4
- ・服部 修寛 議員 P.4
- ・高橋 一 議員 P.4
- ・柴田 雄二 議員 P.4
- ・岡本 将嗣 議員 P.5
- ・平松 邦江 議員 P.5

9月9日(木)

- ・彦坂 和子 議員 P.5
- ・高木 宏昌 議員 ※
- ・大津乃里予 議員 P.5
- ・水谷千恵子 議員 P.6
- ・市川 智明 議員 P.6
- ・後藤美由紀 議員 P.6

宇山 祥子 議員
いちのみやを良くする会



福祉タクシー料金助成の見直し

Q お一人での移動が困難な要介護の方が、病院間を移動する「転院」自宅と病院の間を移動する「退院・通院」これらの移動の場合、ほとんどが家族の方の協力によって行われている。家族の車に乗る際、痛みをこらえながら乗られる要介護者がいらっしゃる。「必要な時に必要な人に必要なだけ提供する」行政サービスが必要であり、特に急性期の患者さんや妊婦さん、障害をお持ちの方、介護認定された方、事故や怪我をされた方などの移動困難時に使える助成券を、他市の事例を参考に検討して欲しいがいかがか。

A 福祉施策を考えるうえでは、全体の福祉制度とのバランスを考慮する必要がありますので、他市町の福祉制度をさらに研究してまいります。

一宮市の平和教育について

Q 高齢化が進む被爆者の願い、戦争で犠牲になって亡くなった方の願いはひとつ、「核兵器禁止条約」に日本がサインすることであるが、現在平和の大切さについて小中学校ではどのような学習を進めているか。

A 学習指導要領の内容に沿って社会科や道徳科を中心に平和に関する教育を進めています。

小林 けいめい 議員
新緑風会



ヤングケアラーについて

Q 児童虐待担当の立場で、ヤングケアラーについてどのように考えているのか。

A 養育者に子育ての意欲や能力が乏しい、「ネグレクト」傾向にある家庭において起こりやすいと考えています。

Q 児童虐待種別のうち一宮市のネグレクトの件数の推移はどうか。

A 一宮市が受けた、児童虐待通告件数のうち、ネグレクトの件数は、平成30年度が33件、令和元年度が50件、令和2年度が49件でした。

Q 学校教育の現場では子どもの様子などから、ヤングケアラーではないかと感じ

ることはないか。

A 自分の食事を自分で用意している子どもに、登校渋りや長期間の欠席など学校を休みがちな傾向がみられました。このような視点で支援を必要とする子どもに気づく必要性が高まると考えております。

Q ヤングケアラーでは家族の介護という問題があるが、実際、発見したことはあるか。

A 親が障害者で子どもが日常的に家事や下の子の世話をしているケースが複数ありました。高齢者の介護では10代後半から20代の孫が親の代わりに祖父母の介護を行っていたケースもありました。

渡部 晃久 議員
令和会



100周年記念事業について

Q 一宮市制100周年をコロナ禍で迎え、多くの行事が中止や延期、規模縮小に追い込まれた。疲弊した地元経済の喚起も念頭に、1年延期となった東京2020大会のように、令和3年度に執行できなかった予算を次年度に上乗せするなど「100周年+1」としてのイベントを実施してはどうか。

A 令和4年度の事業をどう行うかは未定ですが、今後その内容を固め、必要に応じ予算審議をお願いすることになります。

地方版図柄入りナンバープレートについて

Q 東京2020大会などの「図柄入りナン

バープレート」、交付の際の寄付金は社会資本整備等に活用された。一方、地方版図柄入りナンバープレートも一部で交付されている地域もある。一宮ナンバーでも寄付金の活用を期待し、同様の図柄入りナンバープレートの交付を検討してはどうか。

A シティセールスも期待できるものの、先行導入例では交付実績の伸びが大きいと聞いています。今後、住民の意向や新たな制度の内容に注視しながら、研究してまいりたいと考えています。





一宮市の災害について

Q 令和3年5月市町村から発令される避難情報のレベル分けが変わり、わかりやすくなった。発令のタイミングがとても重要になるが、どのように考えるか。

A 手遅れとならないよう、「空振り」を恐れず、より適切なタイミングで発令するための判断が重要であると考えます。

Q 避難所に避難することだけが避難ではなく、積極的に在宅避難の有効性をアピールすべきではないか。

A ご家庭での飲料水等の生活必需品の準備をお願いするとともに、より多くの方に在宅避難を理解していただけるよう、

ウェブページや出前講座等の機会を捉え、積極的にPRしてまいります。

Q 新たに実施する災害用簡易トイレのモニター募集とは、どのようなものか。

A 在宅避難の支障となるトイレの問題を解消するため、簡易トイレの使い方を知っていただくよう、モニター募集を行っています。

Q 道路冠水等のインターネット上の公開について、どのようなものであるか。

A 避難所の情報を掲載しているウェブ上のマップに、市民から寄せられた道路冠水等の情報も示しています。今後、情報の充実に努めます。



未来を描かせる指導で、全ての子どもたちに輝く笑顔を

Q 子どもたちにかかわりのある事柄はすべての関係者の連携と問題意識の共有が重要と考えるがいかがか。

A 教育委員会と学校の連携を密にし、学校では情報の共有を徹底し、組織として対応する事は大切なことと考えます。特に学校と家庭、担任と保護者との連携は欠くことのできない重要なことと思います。

Q 命を大切にする教育を全ての児童・生徒に伝えて欲しいがいかがか。

A あらゆる教育活動を通じて、命を大切にする教育を展開していきます。

教員の多忙化解消

Q 教職員が子どもたちと丁寧にきめ細やかに接する為には、時間的・精神的なゆとりが欠かせない。「チームとしての学校」の体制整備が必要と思うがいかがか。

A 多忙化解消の取り組みに努め、学校が組織として継続的に対応できるように教職員の働き方改革等に取り組んでいきます。

ヤングケアラーの実態と支援について

Q 肉親の介護等で、不登校になるなど学業にも影響がでている。支援策の検討を。

A 県が実施する実態調査の結果と市が把握している状況を確認し、対処していく。



平和行政について

Q 一宮空襲を風化させてはいけない。平和都市宣言をしている一宮市は、恒久平和の思いをどう具現化していくのか。

A 先人の犠牲を忘れることなく平和の尊さを新しい世代に伝えていくために、小中学校において様々な教材を通じ、平和に関する教育を充実したものにしていきたいと考えております。

障害福祉サービスについて

Q 新たな支給決定基準は、サービスを一律に抑制するためか。サービス提供事業所からは、支給量を抑制され満足なサービ

スを提供できないという声があるが。

A 透明性を高めるとともに公平で適正な支給決定を行うことが目的で、支給量を制限するものではありません。

子ども食堂について

Q コロナ禍で貧困世帯が増えている。歩いて行ける範囲、飲食店を活用して一小学校区に一か所、子ども食堂を設ける仕組みを行政支援でできないか。

A 全国的にも、子ども食堂は、NPOや市民活動団体、民間などの力を活用いただいています。当市におきましても、今のところ支援について考えておりません。



RESASを活用しての質問

Q 本市の主要財政指標レーダーチャートを見ると人口1人あたりの人件費・物件費の決算額と人口あたりの職員の数が全国平均と比べて大きく下回る。将来負担比率は全国平均より高い。どのように分析しているか。

A 限られた財源の中で、より効果的・効率的な財政運営に努めた結果であり、将来負担比率は全国平均よりは上回っておりますが、早期健全化基準である割合からは大幅に下回っており、健全な財政状況にあります。

Q コロナ禍で大きく財政調整基金を取

り崩している。将来負担比率をこれ以上に上げないためにどのように取り組まれるか。

A 財政調整基金の残高は2018年度当時よりも減っております。将来負担比率の上昇を抑えるためには、財政調整基金残高の確保は重要な要素であると考えております。

Q 地域経済循環率が増加しているのは本市にとっていい傾向。現在の総合計画の指標とすることはできるか。

A 計画途中での指標変更は評価の面で好ましくありません。ただ、指標設定なくとも経済循環率は自立性を見るうえで有用で、引き続き結果を注視し、必要な施策実施を検討します。

岡本 将嗣
令和 議員



自宅療養中の新型コロナウイルス感染者の医療機関の受診について

Q 千葉県で自宅療養中の妊婦が自宅での出産を余儀なくされ、新生児が死亡するということがあった。一宮市で同様の事態が発生したらどう対応するのか。

A 市民病院に対し受診調整を行い、受入れをお願いすることになります。

新型コロナワクチンの学生の集団接種について

Q かつてのように、中学校・高校での集団予防接種はできないか。

A 国から令和3年6月に、「様々な制約

があることから、現時点では推奨しない」という考え方が示されています。

北部中学校のテニスコート及びプールについて

Q 学校敷地内に試合ができるテニスコートがないが、作ることはできないか。

A 最低一面、他部と共用でさらに一面を確保できるように検討していきます。

Q 北部中学校は、プールを保有していないが、設置することはできないか。

A プールの在り方については、今後、共同利用や民間プールの活用等検討していきます。

平松 邦江
公明党一宮市議員



妊娠・出産、産後の支援の取組について

Q 一宮市では、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を平成29年度から母子健康包括支援センター事業として展開しているが、その評価と実績は。

A 市では3つの保健センターで事業を行っています。妊娠届の際の面接、ハイリスク妊婦のフォロー、32週家庭訪問の3点に力を入れて取り組んでいます。面接や訪問などいずれも大きく進み、出産後に支援が必要な方に早期から寄り添い支援が可能になりました。

Q コロナ禍で育児支援がないケースが増えているが、産後の支援状況は。

A 産後うつ^{しゅんうつ}の早期発見と支援強化のため産婦健診を公費で実施しています。新生児産婦訪問などを通じ、体調不良や育児不安などで継続支援が必要な方には宿泊型と訪問型の産後ケア事業を紹介しています。

Q 産後に授乳についての困難を抱える人が多いため、母乳育児も含めた産後ケア事業は重要である。財源をしっかりと確保し、人的資源も活用して拡充してほしい。

A 産後ケア事業は始まったばかりであり、コロナ禍で利用が進んでいません。自己負担額、乳房マッサージ助成など近隣市町の状況入手し、利用しやすい事業となるよう研究していきたいと考えています。

彦坂 和子
日本共産党一宮市議会議員



命を最優先で新型コロナ対策を

Q 市内で自宅療養者が急増している。宿泊療養施設を一宮にも設置することを県に求める検討をしてほしい。また、どのような状況になれば検討するのか。

A 今のところ設置することを求める状況ではありませんが、感染拡大防止の観点から必要があるという状況になれば、県に要請することも検討したいと思います。

Q 教育・保育・学童施設従事者等に、検査キット配布などの検討をしてほしい。

A 国が学校での感染拡大防止のため、小中学校や幼稚園等に抗原検査キットを配布するとの報道がありましたが、市独自で

配布することが必要かどうかについては研究をすすめます。

Q 学校での抗原検査キットの活用についての考えはいかがか。

A 児童生徒に寄贈された600回分のキットを使用することを考えています。濃厚接触者となりすぐに検査ができない場合や心配される家庭への配付を検討しています。

子どもたちの健やかな成長を

Q 黒田西保育園の民間移管事業者が決定した。地元説明会を開催してほしい。

A 在園児と新入園児の保護者対象に保護者説明会の開催を考えています。

大津 乃里予
自由民主党一真会議員



災害級豪雨の備えについて

Q 避難所を開設する基準は。

A 指標を超えた場合に機械的に開設するだけでなく、総合的に判断しております。

Q 警戒レベルを発令する基準は。

A 指標による基準はありません。総合的な判断で発令するよう努めてまいります。

Q 起・小信中島地区で堤防工事が進められているが、概要と現在の状況は。

A 平成29年度より、国土交通省において、老朽化した特殊堤防の改築に着手しています。現在より高さが約2mかさ上げされ、堤防断面も拡幅される計画です。

Q 木曽川の中央部では土砂が堆積して

いるようだが、^{しゅんせつ}浚渫は行われるのか。

A 必要に応じて浚渫等を行います。

Q 起地区には、^{りっこう}陸閘（堤防をくり貫いた河川への通路及びゲート）が2箇所あるが、門を閉鎖する基準と方法を尋ねる。

A 操作要領では、起水位が4.50mに達し、更に上昇の恐れがある場合に閉門となっています。川側は開口部下半分を鋼製扉で閉鎖し、上部は木製止水材で閉鎖します。住宅側は全て木製止水材で閉鎖します。

Q 8月の大雨で、^{りっこう}陸閘の下端ギリギリまで水が迫っていた。この陸閘が木曽川の増水に耐え得るのか不安を抱くが。

A 操作法に問題ないと考えております。



社会的孤立防止の取組

Q コロナ下で女性の生活困窮の相談も増えていると思うが、実態はどうか。

A 福祉総合相談室では、令和2年4月から令和3年7月までの16か月間に、生活困窮に関わる相談は約1800件、うち女性からの相談は約700件ありました。

Q 女性の自殺は増えているのか。

A 厚生労働省「自殺の統計」資料より、愛知県の令和元年の自殺件数は、1119件、うち女性が328件で29.3%、令和2年の自殺件数は1223件、うち女性が398件、32.5%でコロナ前後1年での増加がみられます。

Q 自殺を防ぐためにも生活の安定が必

要である。何か支援はあるのか。

A 職を失い家賃が払えない場合は、住宅確保給付金や、コロナ特例貸付も利用して、当面の住まいと生活費の確保・安定を図ります。就労支援も行っています。

Q なかなか声を上げられない社会的に孤立している人たちを、どう支援につなげるかが重要と思う。困っているという訴えをどこに相談したらよいのか。

A 女性悩みごと相談などを行う家庭相談課や、生活困窮の相談を受ける福祉総合相談室がまず相談を受けますが、双方の相談担当が協力してより良い支援ができるよう努めたいと思います。



コロナ禍の災害と避難について

Q コロナ禍での災害発生時の避難所については、入口での避難者の健康状態によるスペースの振り分けが重要と考える。受付で使用する防護服などの用意はあるか。

A 感染症流行下では、発熱者や体調不良者のスペースを振り分けるゾーニングが重要です。屋内運動場では、舞台上を体調不良者のゾーンにし、緞帳を降ろして区分けを徹底します。受付は市の職員で行い、検温や口頭での体調確認をし、発熱者などの振り分け、誘導を行います。担当職員は、受付をはじめ感染症に対応した避難所運営訓練を毎年開催しています。体調確認用の

チェックシート、防護服やフェイスシールドなどの資機材も備蓄配備しています。

Q 発熱者や体調不良者が多数発生した場合には、同じ屋内運動場で分離するには限界がある。また、人の動線についても考慮する必要があると思うが、いかがか。

A 屋内運動場でのゾーニングができない場合は、教室を使用しますが、各学校とは調整が済みであり、発熱、体調不良者の移動の動線も含め、トイレなどが専用となるように教室を選んでいきます。

その他の質問項目

・学校体育館の暑さ対策について



将来を見据えた学校のあり方

Q 一宮市の不登校児童生徒の現状は。

A 令和2年度は、小学生約2万1千人の在籍に対し不登校の児童が267人、中学校は約1万1千人に対し530人でした。小中学校ともに、増加してきております。

Q 中学校だけでも校内適応指導教室に専属の方を常勤で配置できないか。

A 専属の教員の配置は、引き続き県教育委員会に求めてまいりたいと思います。

Q 自宅でICT教材を活用して学習に取り組んだ場合、出席扱いにできないか。

A 一定の要件を満たせば出席扱いとすることができますが、不登校が必要な程度

を超えて長期にわたることを助長しないように留意していきたいと考えております。

Q 親の会を、民間を含む他団体との連携や回数の増加、さらには相談役をカウンセラーのみとすることで、親御さんがもっとざっくばらんに話せる会にできないか。

A 回数や会の持ち方については、今後の状況に応じて、引き続き有意義な会になるよう検討していきたいと思います。

Q 緊急事態の際、SOSカードを職員室へ届ける方法を、携帯電話やインターホンで連絡する方法に見直すべきではないか。

A 緊急時の伝達方法については、手法を含め今後も研究していきます。

次回12月定例会の日程

日程は変更になることがあります。ID 1005106

本会議

11月29日(月) 開会・議案上程

12月 3日(金) 一般質問

12月 6日(月) 一般質問

12月 7日(火) 一般質問

12月20日(月) 討論・採決・閉会

■開議時刻……午前9時30分

■傍聴場所……本庁舎14階 議場傍聴席

常任委員会

12月 9日(木) 総務委員会

12月10日(金) 福祉健康委員会

12月13日(月) 経済教育委員会

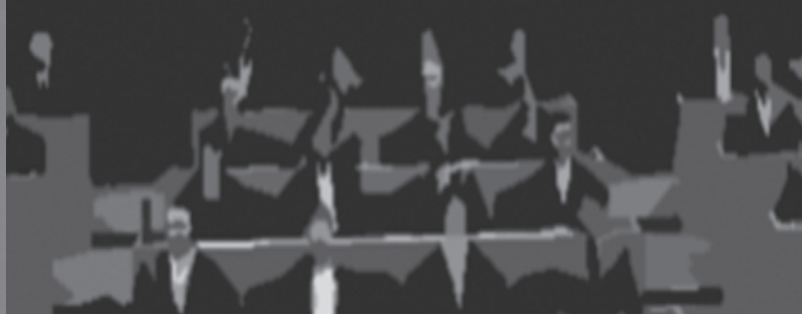
12月14日(火) 建設水道委員会

■開議時刻……午前9時30分

■傍聴受付場所……本庁舎12階 議会事務局

■傍聴受付開始時刻……午前9時(定員10名)

伊藤 裕通	森 利明	西脇 保廣	中村 かずひと	尾関 哲	松井 哲朗	太田 文人	扶桑 美子	京極 俊彦	渡辺 之良	横井 忠史	花谷 昌章
産坂 和子	高橋 一	ずいひと	後藤 美由紀	宇山 祥子	平松 邦江	柴田 雄二	高木 宏昌	則竹 安郎	岡本 将嗣	竹 聡山	八木 丈之
					水谷 千恵子	河村 弘保	森 ひとみ	龜飼 和司	井上 文男	長谷川 八十	島津 秀典
					小林 けいめい	市川 智明	大津 乃里予	木村 健太	渡部 晃久	東 潤	本山 廣次



議案・請願審議結果

令和3年9月定例会では市長提出議案27件、委員会提出議案3件、請願書12件を審議しました。

ID 1042528

議決結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会				議決結果
		総	福	経	建	
市長提出53	令和3年度愛知県一宮市一般会計補正予算	●	●	●	●	可決
市長提出54	令和3年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出55	令和3年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出56	令和3年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出57	令和3年度愛知県一宮市水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出58	令和3年度愛知県一宮市下水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出59	一宮市手数料条例の一部改正について		●			可決
市長提出60	一宮市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について		●			可決
市長提出61	一宮都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について				●	可決
市長提出62	一宮市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について			●		可決
市長提出63	木曽川体育館天井等改修工事の請負契約の締結について			●		可決
市長提出64	木曽川体育館天井等改修空調設備工事の請負契約の締結について			●		可決
市長提出65	和解について			●		可決
市長提出66	一宮市土地開発公社定款の一部改正について				●	可決
市長提出67	市道路線の廃止について				●	可決
同意7	教育委員会委員の任命について	付託省略				同意
同意8	監査委員の選任について	付託省略				同意
同意9	固定資産評価審査委員会委員の選任について	付託省略				同意
委員会提出2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	付託省略				可決
委員会提出3	出産育児一時金の増額を求める意見書	付託省略				可決
委員会提出4	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	付託省略				可決
請願18	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める件			●		採択

総務委員会、福祉健康委員会、経済教育委員会、建設水道委員会の略です。

青く色付けした議案は賛否の分かれた議案です。

賛否の分かれた議案について、議員の賛否は下記のとおりです。(○は賛成、×は反対)

氏名の掲載は会派別に五十音順です。

会 派 名		令和会										自民党一真会					公明党			新緑風会			いち良	自民	共産	市民													
氏 名	議案番号	浅井俊彦	井上文男	岡本将嗣	尾関さとる	木村健太	島津秀典	竹山聡	東 正人	則竹安郎	長谷川八郎	花谷昌章	本 廣次	森 利明	八 丈之	横井忠史	渡辺之良	渡部晃久	鷗飼和司	太田文人	大津乃里予	京極扶美子	高木宏昌	松井哲朗	森ひとみ	市川智明	河村弘保	柴田雄二	平松邦江	水谷千恵子	小林けいめい	高橋 一	中村かずひと	西脇保廣	宇山祥子	後藤美由紀	伊藤裕通	彦坂和子	服部修寛
		市長提出53	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

※自民党一真会=自由民主党一真会、公明党=公明党一宮市議団、いち良=いちのみやを良くする会、自民=自由民主党一宮市議会、共産=日本共産党一宮市議会、市民=一宮市民クラブの略です。

閉会中の継続審査となった議案は下記のとおりです。

議案番号	件 名
認定1	令和2年度愛知県一宮市水道事業会計決算の認定について
認定2	令和2年度愛知県一宮市下水道事業会計決算の認定について
認定3	令和2年度愛知県一宮市病院事業会計決算の認定について
認定4	令和2年度愛知県一宮市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定5	令和2年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定6	令和2年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定7	令和2年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定8	令和2年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定9	令和2年度愛知県一宮市外崎土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
請願3	国民健康保険税の引き下げを求める件
請願5	所得税法第56条の廃止を求める件
請願6	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する件
請願10	公共施設等の使用料・手数料の引き下げを求める件
請願11	小・中学校の少人数学級を求める件
請願12	陽性者が出た小・中学校でのPCR検査を求める件
請願13	「全国一律最低賃金制と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める件
請願14	「一宮市働く婦人の家」の利用の継続を求める件
請願16	尾西児童図書館の再開を求める件
請願17	放課後児童クラブ利用手数料の引き下げと8月の加算料取り止めを求める件
請願19	「一宮競輪場跡地の商業施設内のテナント型保育所の認可はしないでください」を求める件

国に意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定に基づき、9月定例会では3件の意見書を議決し、令和3年9月27日に国と衆・参議院議長に提出しました。



- ・ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- ・ 出産育児一時金の増額を求める意見書
- ・ コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

意見書はウェブサイトで公開しています。

市議会議員の年賀状、寄付は禁止

議員の年賀状や寄付（歳暮、香典などを含む）は、公職選挙法により禁止されています。

市民各位におかれましては、この趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。



一宮市名誉市民「市川房枝」さん ～女性の地位向上に尽力～

一宮市は、市制100周年を記念して、前一宮市長の谷一夫氏と元一宮市長で前愛知県知事の神田眞秋氏に名誉市民の称号を贈りました。

名誉市民には、政治や産業、芸術などの発展に貢献した一宮市ゆかりの16名が選ばれています。女性としては、婦人参政権の実現に尽力した市川房枝さんや画家の三岸節子さんが選ばれています。

今回のDoorsでは、女性の地位向上や男女平等をめざし活躍され、今年2月に没後40年を迎えられた市川房枝さんの紹介を行います。

市川房枝さんは、明治26年、愛知県中島郡明地村（現在の一宮市明地）に、父 市川藤九郎と母 たつの男3人、女4人の三女として生まれました。

7歳で尋常小学校に入学し、4年で卒業後、高等小学校に進学し、さらに岡崎の第二師範学校女子部に入学し、大正2年に朝日の尋常高等小学校に勤務します。

大正8年に上京し、長兄の紹介で語学塾を開いていた山田嘉吉・わか夫婦と知り合い、この塾で、

女性文芸誌「青鞥」を創刊し、女性問題に取り組み、後世に「元始、女性性は太陽であった」との言葉を残した平塚らいてうと出会い、新婦人協会を設立します。

大正10年、アメリカに旅立ち、新聞社の特派員となり、全米婦人党のリーダー、アリス・ポールに出会い、婦人運動に取り組む重要性を強く進言されます。

大正13年帰国後、国際労働機関（ILO）東京支局に勤務、女性の炭坑坑内労働や紡績業の深夜業を禁止する決議の採択に努力し、その後女性が政治に参加する必要があると考え、婦人参政権運動に取り組みます。

しかし女性が選挙で一票を投じる事ができたのは、昭和21年4月10日に実施された戦後初めての衆議院議員選挙でした。この選挙の結果、日本初の女性議員39名が誕生しました。

市川房枝さんは、昭和28年に行われた参議院議員選挙東京地方区に立候補し、第2位で当選し、以後全国区を含めて5回当選をし、女性の地位向上に活躍しました。



議会だよりの刷新について

令和3年度情報通信白書（総務省）によると、2020年のインターネット利用者の割合は83.4%となりました。また、世代間の格差も縮小傾向にあります。ICTサービスの利用拡大に伴って、年々紙媒体による情報発信の役割も変容しつつあります。

こうした背景も踏まえ一宮市議会としては、次年度から市議会の情報発信の在り方を見直し、議会だよりの掲載内容も刷新いたします。

具体的には令和4年度から、市議会の情報発信は主に市議会ウェブサイトから行い、現在のウェブサイトを分かりやすく、見やすい構成とするとともに、より早いタイミングで情報発信できるよう更新スケジュールも見直します。

また、紙媒体を中心に情報に接している方々のために、年4回発行している現在の議会だよりは今回の見直し後も、最近の一宮市議会の主だった動きなどの紹介とともに、市議会ウェブページの掲載先を案内する概要版（A4判4ページ）として発行いたします。

この概要版は、当分の間、これまでどおり市広報紙への折り込みにより、各世帯へ配布いたします。なお、概要版への切り替え時期は、令和4年5月号からを予定しています。

今後とも市議会が市民の皆さまの身近な存在となるよう、情報発信の充実に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

いちみんのぬり絵作品を募集

大正10年9月1日に一宮市が誕生して今年で100周年になります。
市制施行100周年を皆様にご案内いただくため、今月号の議会だより138の裏表紙に一宮市のキャラクター「いちみん」のぬり絵を掲載しました。ご家庭でお楽しみいただくほか、下記のとおり皆さんの作品を募集し、市議会ウェブサイトへ掲載します。

対 象：市内在住の方（多数の場合、抽選で50名）

申し込み：一宮市議会事務局へ郵送または電子申請

締め切り：郵送は11月22日（月）（必着）

電子申請は同日の午後11時59分まで

※応募作品の一切の権利は、一宮市議会に帰属するものとします。

掲載に当たっては、氏名（ペンネーム）と住所の一部も掲載します。

応募にかかる費用（郵送料・通信代等）は応募者の負担とします。

応募で得られた個人情報等は、適切に取扱います。

<応募方法>

切り取り線に沿って、いちみんぬり絵ページを切り取り、下記応募用紙を記入のうえ郵送いただくか、電子申請の場合は、下記のURL（QRコード）から応募フォームに従って、PDFデータもしくは写真データを添付して応募してください。掲載させていただいた方には、ささやかですが記念品（いちみんシールなど）を送付予定です。

URL:https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-ichinomiya-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=38336

《応募用紙》

住 所	〒 —
ふ り が な 氏 名	
ペンネーム (希望者のみ記入)	
電 話 番 号	() —

応募・問い合わせ先

一宮市議会事務局 議事調査課
〒491-8501 一宮市本町2丁目5番6号
TEL: (0586) 28-9139



応募はこちらから

編集後記

今回も緊急事態宣言下での議会となりました。これまでと同様、議場に入る際には検温・消毒などを徹底し、密を避けるため議員の入場も半数ずつ交代制とさせていただきました。

皆様におかれましても、これからインフルエンザの流行時期を迎えますので、新型コロナウイルス感染症対策を含め、引き続き感染防止に努めていただきますようお願いいたします。

また、市制施行100周年を多くの市民の皆様にご案内させていただきたく、一宮市のキャラクター「いちみん」のぬり絵を掲載させていただきました。是非、お楽しみください。

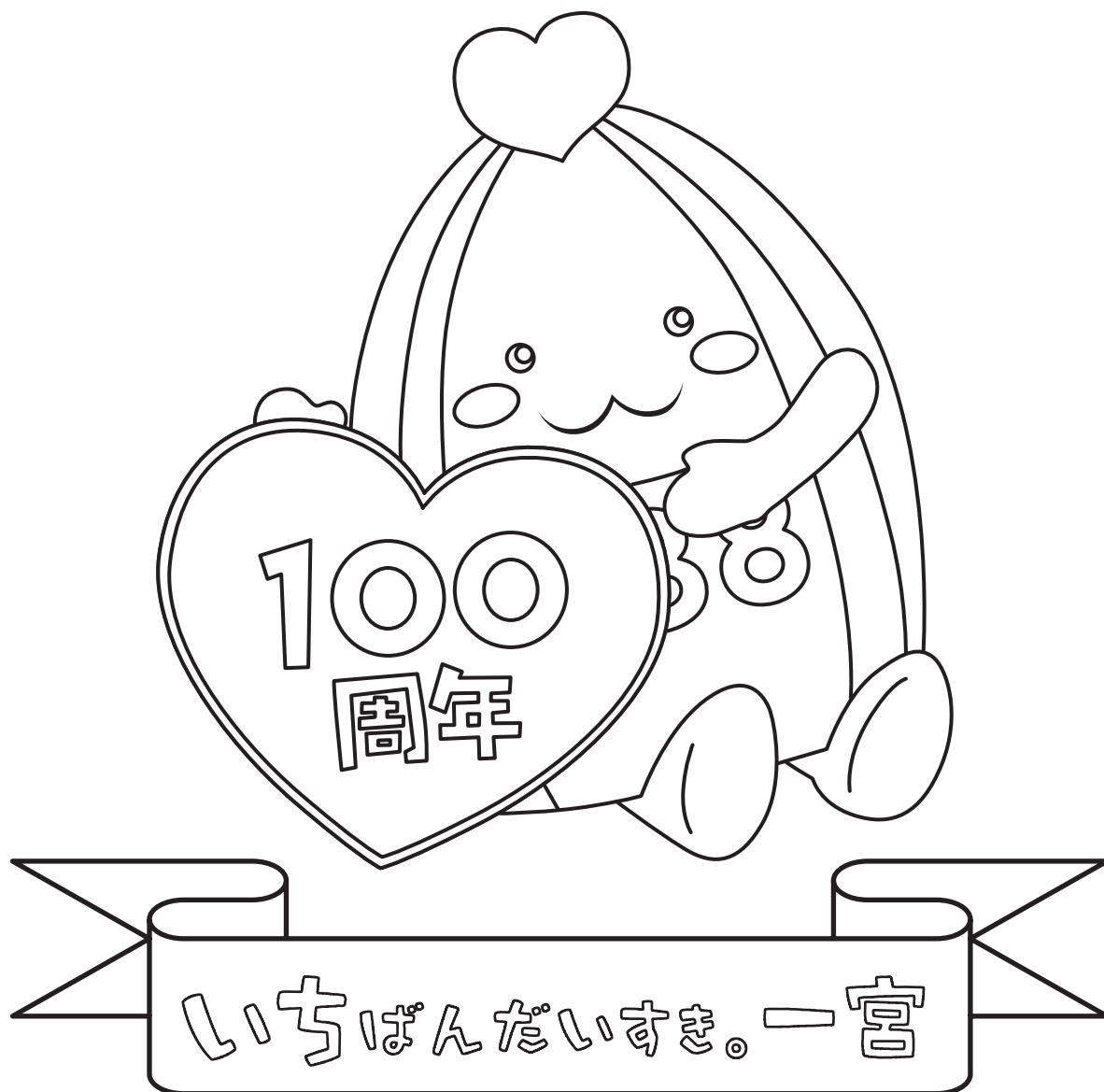
議会だより編集委員会

委員長	本山 廣次	副委員長	鵜飼 和司
委 員	木村 健太	大津 乃里予	市川 智明
	小林 けいめい	後藤 美由紀	服部 修寛

ぬり絵作品を募集します。
応募の方法は裏面(10ページ)をご覧ください。



いちみんぬりえ!



議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト
(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター
いちみん